

1970年大阪万博で爆発的大ヒット！当時の味わいとパッケージをアレンジ・再現した『UCC コーヒーミルク入り 缶 250g』を4月7日より数量限定で発売
日本から始まった世界初の缶コーヒー、当時の姿を昭和100年の今、復刻

UCC 上島珈琲株式会社

UCC 上島珈琲株式会社（本社／兵庫県神戸市、資本金／10億円、社長／芝谷博司、以下 UCC）は、1969年に発売した、世界初の缶コーヒー『UCC コーヒーミルク入り（当時の製品名）』の発売当時の味わい・パッケージデザインをアレンジ・再現し、4月7日（月）に『UCC コーヒーミルク入り 缶 250g』（以下、復刻缶）を数量限定で発売します。



1969年発売当時の缶

『UCC ミルクコーヒー』は、1969年にUCCグループ創業者、上島忠雄（1910～1993）の「いつでも、どこでも、一人でも多くの人においしいコーヒーを届けたい」という創業精神のもとに開発された、世界初の缶コーヒーです。発売翌年の1970年に大阪で開催された日本万国博覧会（大阪万博）をきっかけに爆発的にヒットし、いつでもどこでも手軽に飲める缶コーヒーは、新しい食文化、飲用スタイルとして日本中に広まり、缶コーヒー市場の礎を築きました。そして今日に至るまで、子どもから大人まで世代を超えた幅広い方々に愛飲いただき、発売から56年のロングセラーブランドとなっています。

また、おいしさや手軽さだけでなく、パッケージも愛されてきた『UCC ミルクコーヒー』。発売当初から一貫して茶色・白色・赤色の3色を使用しており、「三色缶」の愛称で親しまれています。発売50周年の2019年には、これらの色の組み合わせが『UCC ミルクコーヒー』を想起させる高い識別性を有すると認められ、特許庁により「色彩のみからなる商標」（登録番号：第6201646号）として登録されました。



こだわりのコーヒーとまろやかなミルク。発売当時の味わいをアレンジした復刻缶を発売！

昭和100年にあたる2025年を迎え、UCCではこのたび1970年の大阪万博で大ヒットした“初代缶”の味わいをアレン



Every coffee, every moment

ジした復刻缶を数量限定で発売します。当時のレシピを参考に、昔ながらの、しっかりと甘さ・コーヒー感のある味わいに仕上げています。またパッケージデザインは、当時のものを忠実に再現！1969年から1978年に2代目パッケージのリニューアル製品が発売されるまでの8年間、皆さまに親しまれた懐かしの初代パッケージのデザインを再現しています。

UCCは、これからも、いつでも、どこでも、一人でも多くの人においしいコーヒーをお届けできるよう努めてまいります。

■『UCCコーヒーミルク入り缶 250g』製品概要



製品特長	こだわりのコーヒーとまろやかなミルク。 ◆1969年から続く、ロングセラーブランド。 ◆1970年の大阪万博で大ヒットした、当時の味わいをアレンジ、パッケージデザインを再現して復刻。 ◆発売当時のレシピを参考に、昔ながらの、しっかりと甘さ・コーヒー感のある味わいに。 Lレギュラーコーヒー100%使用 L乳飲料規格
発売日	2025年4月7日(月) ※数量限定
希望小売価格	125円(税抜)
カロリー	44kcal(100gあたり)
ケース入数	250g×30本
販売地域/ チャンネル	全国のコンビニエンスストア、量販店、オンラインストアを中心としたチャンネル



Every coffee, every moment

《参考資料》

■『UCC ミルクコーヒー』誕生について

世界初の缶コーヒーを開発したのは UCC グループ創業者の上島忠雄。喫茶店でコーヒーを飲むスタイルが一般的だった時代から、コーヒーをいつでもどこでも手軽に飲めるものになりたい、という強い思いを抱いていました。

ある時、上島は駅の売店で冷蔵の瓶入りコーヒー牛乳を購入するも、発車ベルが鳴り、当時は瓶を売店に返す決まりだったため、飲み残して瓶を返却せざるを得ませんでした。

この体験が、常温長期保存が可能で、車内などにも持ち運びができる“缶入り”のアイデアを閃かせ、自らが中心となり開発を開始しました。

ところが、製品化には多くの困難を伴い、コーヒーとミルクの分離、高熱殺菌による風味の変化など、専門家の協力を得ながら試行錯誤を繰り返しました。

特に、缶に含まれる鉄イオンとコーヒー成分のタンニンが結合し、コーヒーが真っ黒に変色するという難問には、製缶会社との取り組みにより、缶の内側に特殊コーティングをする技術を開発しました。

結果、いつでもどこでも手軽に飲める新しい飲用スタイルや、安定的な品質保持にこだわり、缶にコーヒーを詰めただけでなく、流通商品としての価値を生み出した缶コーヒーが誕生しました。

UCC が世界初の缶コーヒー『UCC コーヒーミルク入り（当時の製品名）』を発売したのは、1969 年 4 月。当初なかなか売上は伸びなかったものの、翌 1970 年 3 月から大阪で開催された「日本万国博覧会」で来場した多くの人の目にとまり、その後全国に広がりました。時代とともに変化する嗜好に合わせてリニューアルし、2019 年に 10 代目を発売、現在に至ります。



1970 年大阪万博会場内で飲まれる様子

< 歴代パッケージ（左から古い順） >



①1969年 ②1978年 ③1981年 ④1986年 ⑤1993年 ⑥2000年 ⑦2001年 ⑧2003年 ⑨2010年 ⑩2019年



Every coffee, every moment

■3色の秘密と、色彩のみからなる商標

パッケージに使用している3つの色彩は、茶色は「焙煎したコーヒー豆」、白色は「コーヒーの花」、赤色は「熟したコーヒーの実」を表現しています。発売当初から一貫して茶色・白色・赤色の3色を使用しており、これらの色の組み合わせが『UCミルクコーヒー』を想起させる高い識別性を有すると認められ、2019年11月29日に特許庁により「色彩のみからなる商標」として登録されました。「色彩のみからなる商標」（登録番号：第6201646号）の登録は食品業界では初、国内で8番目となります。



■『UCCミルクコーヒー 缶 250g』（10代目）製品概要



<p>製品特長</p>	<p>こだわりのコーヒーとまろやかなミルク。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1969年から続く、ロングセラーブランド。 ◆10代目は、誕生50周年の2019年4月に発売。 ◆こだわりのコーヒーとミルクのバランス、“ミルク感の強い”おいしさ。 <ul style="list-style-type: none"> └アラビカ種コーヒー豆 100%使用 └乳飲料規格 ◆茶色・白色・赤色の親しみやすいパッケージデザイン （「色彩のみからなる商標」登録）（登録番号：第6201646号）
<p>希望小売価格</p>	<p>125円（税抜）</p>
<p>カロリー</p>	<p>41kcal（100gあたり）</p>
<p>ケース入数</p>	<p>250g×30本</p>
<p>販売地域／ チャネル</p>	<p>全国のコンビニエンスストア、量販店、自販機、オンラインストアを中心とした全チャネル</p>



Every coffee, every moment

■『UCC ミルクコーヒー AB200ml』製品概要（カフェインレスコーヒー使用）



製品特長	お子様を含めたどんな方にも『UCC ミルクコーヒー』を味わっていただきたいという思いから、カフェインレスコーヒーを 100%使用した紙パックタイプも販売しています。 ◆初めてのコーヒータイムにも。 ◆ミルクの甘さに、ほんのりコーヒー味。 ◆香料不使用。
希望小売価格	110 円（税抜）
カロリー	41kcal（100ml あたり）
ケース入数	200ml×24 本
販売地域／ チャンネル	全国の量販店、オンラインストアを中心としたチャンネル

関連 URL

・『UCC ミルクコーヒー』ブランドサイト：<https://www.ucc.co.jp/milk-coffee/>

・UCC 公式オンラインストア：<https://store.ucc.co.jp/>

【本件に関する一般のお客さまからのお問い合わせ先】

UCC 上島珈琲株式会社 お客様担当

TEL：078-304-8952

WEB：<https://www.ucc.co.jp/customer/>



コーポレートメッセージ「Every coffee, every moment」は、
コーヒーがもたらす最高の瞬間のために、コーヒーの全てを追い求める、という
私たち UCC グループからのメッセージが込められています。